

海外向けEラーニングプログラム 「Setouchi Training Platform」提供開始

～瀬戸内を学習するためのプラットフォーム 瀬戸内の観光コンテンツを270以上紹介～

せとうちDMOは、海外DMOの手法を参考に、海外旅行社等がインターネット上で瀬戸内の魅力的な観光コンテンツ（体験、観光スポット、施設等を含む）を自己学習ができるEラーニングプログラム「**Setouchi Training Platform**」（英語版）の提供を3月26日から開始しました。

本Eラーニングプログラムを通じて、トラベル・エージェント（旅行代理店）、ツアーオペレーター（卸売）、ランドオペレーター（旅行サービス手配）など、広範かつ膨大な数にのぼる世界中の旅行業関係者に対して瀬戸内の観光コンテンツをアプローチすることが出来ます。今後、現地エージェンシーと連携し、海外旅行会社等に対して、本Eラーニングプログラムの普及と利用を積極的に促すことで、瀬戸内への誘客拡大を図ってまいります。

<Eラーニングプログラム「Setouchi Training Platform」の特徴>

1. 7県×6テーマで合計270以上のコンテンツを紹介

瀬戸内全体と県別（兵庫県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県）のレッスンコースを設定。

各県レッスンコースでは、

- ①Adventure and Experience ②Art and Culture ③Heritage and History
④Food and Drink ⑤Sea and Nature ⑥Where to Stay
の6つのテーマ別に魅力的なコンテンツを紹介。

2. ウェビナー（Webセミナー）機能も搭載

<Setouchi Training Platformのイメージ>



トップページ



レッスンページ

▼実際のページはこちらから



<https://training.setouchitrip.com/>

瀬戸内Finder 4月人気記事TOP 5



地元ライターによる
瀬戸内情報発信中！
<http://setouchifinder.com>



#1

農家直営いちごカフェ
ソノタス

山口県



#2

隠神刑部の故郷

愛媛県



#3

絶景すぎる稲荷神社

山口県



#4

ミュージックビデオ
のロケ地は尾道

広島県



#5

山口県の超絶景マ
トメ8選！

山口県



メディア掲載実績

■STU48関連

- 4月1日 日経MJ
4月2日 山陽新聞
4月12日 朝日新聞、トラベルボイス
4月16日 テレビ新広島、広島ホーム
テレビ、広島テレビ ほか
4月17日 読売新聞、中国新聞、
山陽新聞、日本経済新聞

■せとうちDMO

4月6日 観光経済新聞

■Horai

- 4月1日 LIGARE(リガーレ)
■UMAINJOR TOUR
4月12日 朝日新聞
■ナショジオ
4月16日 日本経済新聞
■庄原連携協定
4月25日 中国新聞

せとうちDMOスマート観光コンシェルジュ「Horai」の 開発に協力

～ 瀬戸内からはじまる新たな海上モビリティサービス ～

せとうちDMOは、scheme verge株式会社（スキームヴァージ、本社：東京都文京区）が提供する**スマート観光コンシェルジュ「Horai」**（スマートフォン用アプリケーション）の開発に協力します。

旅行者は「Horai」を利用することで、フェリーや旅客船、乗合の海上タクシーを用いた最適な旅程を知り、乗合海上タクシーを予約・決済することが可能。将来的には、近くにいる海上タクシーをオンデマンドで手配・決済する仕組みの構築を目指します。また、瀬戸内国際芸術祭の開催により船の利用増加が見込まれる香川県の島々において、海上タクシーのオンデマンド化実証実験が4月1日より開始され、今後、最も多くの需要が見込まれる夏を中心に、スムーズな手配方法の検証を進めていきます。

せとうちDMOは、「Horai」が瀬戸内を訪れる旅行者や事業者、住民の皆さまの満足度向上につながることを期待し、観光情報の提供や海外への情報発信のサポートを通じて開発に協力します。

海外メディア46媒体で掲載されました！

3月は46もの媒体で、瀬戸内エリアが取り上げられました！
 (内訳は、アメリカ：12、イギリス：15、フランス：16、ドイツ：3)
 開催を控えた瀬戸内国際芸術祭の記事をはじめ、1つのエリアにフォーカスした記事も掲載されております。

英「The Daily Telegraph」

発行部数：
約35万部/日

< It's a time capsule of Japanese history >
 日本の歴史を振り返る時

The Telegraph



'It's a time capsule of Japanese history'

Natalie Paris heads into the countryside and tries living like a local in a traditional 'omiyaka'

徳島県
祖谷

【掲載スポット】
 ちいおり
 祖谷渓谷
 祖谷温泉ホテル
 祖谷そば

2019/3/9掲載

独「Vogue Germany」

発行部数：
約89千部/月

< Like a dream >
 夢のような

VOGUE

香川県
三豊

【掲載スポット】
 瀬戸内国際芸術祭
 直島
 豊島
 犬島



TRAUMHAFT Zwölf Inseln und zwei Küstenstädte nehmen 2019 an der „Setouchi Triennale“ (26.4.–4.11.) teil, die das Seto-Binnenmeer bespielt. Sehenswert: die Inseln Naoshima, Teshima und Inujima. Setouchi-Artfest.jp

2019/3/14掲載

米「Forbes」

媒体接触者数：
約2970万インプレッション/月

< Five Quirky Amenities Found In-Transit in Setouchi, Japan >
 日本のせとうちで発見できる5つの楽しみ

Five Quirky Amenities Found In-Transit In Setouchi, Japan

Chelsea Davis Contributor @ Dining & Drinking
 Anpanman Lunchbox



Back in the 70s, Anpanman was a popular Japanese TV cartoon show among kids. For those of you that don't know, Anpanman is a superhero with a head made of anpan, a red bean-filled pastry. His name literally translates in to "bean bun man." Those that travel through the Takamatsu station in Kagawa should be on the lookout for the famous Anpanman-themed train.

2019/3/13掲載
<https://www.forbes.com/sites/chelseadavis/2019/03/13/five-quirky-amenities-found-in-transit-in-setouchi-japan/#27d1f47d3ba3>

Forbes

香川県
高松

【掲載スポット】
 【岡山県】岡山駅
 【広島県】広島空港
 【山口県】宇部空港
 【香川県】高松空港
 【愛媛県】松山空港
 など

米「Travel Channel」

媒体接触者数：
約940万インプレッション/月

< 10 Under the Radar Cities for Architecture Lovers >
 建築愛好者が訪れるべき10箇所の知られざる都市

10 Under the Radar Cities for Architecture Lovers

Experience modern and historic design around the world.

By: Jeff Stafford



Matsuyama, Japan

Under the radar but quickly becoming a top travel destination for design lovers is Matsuyama which combines innovative new work like the modern, minimalist Setouchi Aonagi hotel (pictured), designed by noted Japanese architect Tadao Ando, with historic landmarks like the Iwanwa Shrine, a beautifully preserved Shinto structure that dates back more than a thousand years. Additional highlights include the maze-like design of the Dogo Onsen bath house circa 1894, the 132-meters high Matsuyama Castle on a steep hillside in the town center, and the dazzling Dogo Giyaman Glass Museum in the Yamanote Garden Plaza.

2019/3/11掲載
<https://www.travelchannel.com/interests/arts-and-culture/photos/10-under-the-radar-cities-for-architecture-lovers>

愛媛県
松山

【掲載スポット】
 リトリート青尻
 伊佐爾波神社
 道後温泉
 松山城
 ぎやまんガラス美術館

その他の記事は、サイト「SETOUCHI TRIP」 MEDIA & TRAVEL TRADE 「SETOUCHI in the News」をご覧ください。

<http://setouchitrip.com/media>

米国人ジャーナリスト 視察ツアー実施

せとうちDMOの重点対象市場の1つである米国からの誘客を促進するため、現地の有力誌に多数寄稿している米国人ジャーナリストを招聘し、視察ツアーを実施しました。今回の視察ツアーは、「アート」「オリーブ」「うどん」をテーマに瀬戸内エリアをフォーカスした内容で実施することができました。瀬戸内での滞在は、2019年4月8日～15日の8日間でART BASE 百島、直島でのアートスポットの視察、小豆島では作成中のアート作品の視察、オリーブ農家の方への取材、高松ではうどんタクシー体験など、満足度の高い取材ができ、今後のメディア露出に期待できる内容となりました。

今後も引き続き米国市場に対して効果的なプロモーション活動を行なってまいります。



【視察スポット】

- 4/8 広島泊
- 4/9 平和公園（原爆ドーム、資料館）、ART BASE MOMOSHIMA（百島）、LOG、ONOMICHI U2、尾道泊
- 4/10 宇野港、豊島（豊島美術館、心臓音のアーカイブ）豊島泊
- 4/11 豊島（豊島横尾館ほか）、小豆島泊
- 4/12 小豆島（作成中のアート作品視察、オリーブ農家への取材）高松泊
- 4/13 直島（家プロジェクト、ANDO MUSEUM、地中美術館）高松泊
- 4/14 うどんタクシー 体験、UDON HOUSE、高松泊
- 4/15 うどんタクシー 体験

2019年4月8日～15日

船上劇場「STU48号」瀬戸内7県の公演開催予定地が決定！

瀬戸内のアイドルグループSTU48の専用劇場となる船上劇場「STU48号」の公演開催予定地が、神戸港（兵庫県）、宇野港（岡山県）、広島港（広島県）、下関港（山口県）、徳島小松島港（徳島県）、高松港（香川県）、今治港（愛媛県）に決定しました。

「STU48号」は、瀬戸内7県を本拠地に、平日夜や土日祝日の昼・夜に船上劇場として7県の港で公演を開催していくとのこと。

4月16日には「STU48号」の初劇場公演を前に、初出航を記念する就役お披露目セレモニーが開催されました。STU48メンバーからのコメントと広島県湯崎知事からの激励コメントの後に、STU48号の安全な航行と瀬戸内の発展を祈願したフラッグパフォーマンスを行いました。せとうちDMOからも佐々木会長、村橋本部長、藤田社長がお祝いに駆け付けています。船上劇場「STU48号」は瀬戸内エリアの新たなシンボリックコンテンツとして期待しています。今後の活躍が楽しみです！



▲公演開催予定地マップ



佐々木会長も応援に駆け付けました



瀬戸内Finderにて、STU48の2ndシングル「風を待つ／出航」のロケ地解説の記事が公開されました。オール尾道ロケで撮影されたミュージックビデオの撮影地の詳細情報をたっぷり紹介しています。ぜひご覧ください。STU48の2ndシングル『風を待つ』『出航』ミュージックビデオのロケ地は尾道！

- 瀬戸内Finder
<https://setouchifinder.com/ja/detail/kazewomatsu>
- 【MV full】風を待つ / STU48【公式】
https://www.youtube.com/watch?v=asLjYOf_No

せとうちDMOの歴史資源活用『Setouchi Cominca Stays（せとうち古民家ステイズ）』 2カ所目が広島に9月オープン

せとうちDMOは、広島県庄原市および地域各団体からなる庄原古民家ステイ推進協議会との共同により、庄原市内に点在する複数の歴史的な古民家をリノベーションした古民家宿泊施設を今秋開業するとともに、庄原市と観光地域づくりに係る包括連携協定を締結しました。

新たに開業する古民家宿泊施設Setouchi Cominca Stays「長者屋」（ちょうじゃや）および「不老仙」（ふろうせん）は、美しい田園風景の間に非常に多数の古民家が残る庄原市郊外にある、地域の人々から大切にされてきた建築物です。これらを歴史的建築物の利活用と空き家対策の観点から、急増する外国人旅行者をメインターゲットとした宿泊施設へと改修し、高品質な1組限定一棟貸しの宿として、令和元年秋の開業を目指しています。

これらの施設は「広島の隠れ里（Hidden Village in Hiroshima）」としての庄原にふさわしく、伝統的風情をそのままに、内装は日本の伝統を感じさせる設えを残しながら、国内旅行者はもとより外国人旅行者にも快適な設備を整えて、豊かな農業景観を目前にした眺望と里の歴史を感じながら、上質でゆったりとした時間を過ごせる宿となる予定です。さらに庄原の魅力を体験できる各種アクティビティの造成・庄原ならではの食開発・庄原を含む広域でのインバウンドツアーの開発などにも同時に取り組んでおり、多面的な庄原の魅力開発を狙うものとなっています。

また観光地域づくりに係る包括連携協定では、本取り組みをはじめ、庄原市の観光振興に関する様々な取り組みにおいて連携していくことを取り決めました。今後はさらに単一の施策に終わらない統合的な観光地経営を庄原市および地域諸団体とともに進めていく内容となっています。

【宿概要（予定）】

- 名称：「長者屋-CHOJAYA-」（ちょうじゃや） / 「不老仙-FUROSEN-」（ふろうせん）
- 開業：2019年9月中予定
- 所在地：「長者屋-CHOJAYA-」広島県庄原市比和町「不老仙-FUROSEN-」広島県庄原市上谷町
- 宿形態：一棟貸し切り(1組様限定) 最大定員6名
- 施設：「長者屋-CHOJAYA-」ベッドルーム1室、和室2室、リビングダイニングルーム、キッチン、浴室、トイレ×2、展示室、駐車場
「不老仙-FUROSEN-」ベッドルーム1室、和室2室、ダイニングキッチン、浴室、トイレ×2、パティオ、駐車場

【Setouchi Cominca Stays URL】 <https://cominca-stays.com/> （庄原の掲載は9月からとなります）



▲長者屋-CHOJAYA- 外観



▲不老仙-FUROSEN- 外観



▲長者屋-CHOJAYA- リビングエリア



▲長者屋-CHOJAYA- ベッドルーム



▲不老仙-FUROSEN- ダイニングキッチン

四国初進出の「ホテルビスタ」へ観光ファンドによる支援が決定

瀬戸内ブランドコーポレーションは、2020年夏に愛媛県松山市へ開業予定の「ホテルビスタ松山」（仮称）への開発支援を決定しました。

ホテル計画地は愛媛県松山市の中心部に位置し、道後温泉や松山城などの歴史的価値の高い観光名所にアクセスしやすい好立地です。また、内装・インテリアデザインには、文学と伝統の町“松山らしさ”や愛媛の伝統工芸が採り入れられる計画です。せとうちDMOは、ワンランク上のビジネスホテルを志向し地域性を織り込んだ「ホテルビスタ」が、国内外からビジネス・観光で松山市を訪れたお客様の満足度向上に貢献し、同市や瀬戸内エリアの滞在日数と再訪意向の増加へつながるものと考え、支援を決定しました。

これまでせとうちDMOは、旅行者の受け皿となる宿泊施設やサービスの充実に向け、事業者への支援や協力を行ってまいりました。2017年5月には、同ブランドの「ホテルビスタ広島」（2018年8月開業）の開発事業に協力し、瀬戸内の観光情報の提供を行いました。「ホテルビスタ松山」においても同様に情報提供を行うことで、観光産業の活性化と周遊を促すことができるものと期待しています。

【ホテル概要】

- 名称：ホテルビスタ松山(仮称)
- 所在地：松山市一番町3丁目3番5地（地番）
- アクセス：伊予鉄道「大街道」電停から徒歩1分
- 階数：地上12階建
- 客室：140室
- ホテル運営会社：(株)ビスタホテルマネジメント



香川県宇多津町の宿泊交流拠点新設を支援

瀬戸内ブランドコーポレーションは、香川県綾歌郡宇多津町の5/15オープン予定の交流拠点ChiioriUtazuBranch開業において、株式会社ちいおりアライアンスに出資を行いました。

ChiioriUtazuBranchは、香川県の瀬戸内海沿岸に位置する宇多津町の旧市街地エリア、通称「古街（こまち）」にあります。同地区は、四国八十八カ所霊場の第78番札所「郷照寺」など歴史や文化を感じさせる建物が数多く建ち並んでおり、道路はエリアの雰囲気に合わせて燻しレンガで整備されている散策には最適なスポットです。

同施設は、ちいおりアライアンスの宇多津事務所を兼ねており同社が運営にあたります。昭和の町家を改修し、外観は町並みにふさわしい風情をそのままに、1階にはコミュニティスペース及びカフェ、2階には、国内旅行客はもとより外国人観光客にも手軽に快適にご利用いただける和室宿泊スペース（1組5名まで宿泊可能、2名利用時7,000円～/人）の設備を備えています。交流拠点として、宇多津古街のさらなる活性化を目指しています。

【施設概要】

- 名称：Chiiori Utazu Branch
- 所在地：香川県綾歌郡宇多津町2120番地4
- アクセス：JR宇多津駅から徒歩20分
- 定員：1組5名
- お問い合わせ先：ちいおりアライアンス宇多津事務所 TEL 0877-85-6941



一般社団法人 そらの郷（徳島県）

官民連携で目指す、世界に通用する観光地域づくり

■「一般社団法人そらの郷」とは

一般社団法人そらの郷は、徳島県西部「にし阿波」エリアの日本版DMOです。そらの郷は、観光圏整備法に基づき国土交通大臣から認定された、「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」の観光地域づくりプラットフォームとして2011年に設立されました。観光圏制度は、広域連携、官民連携、異業種連携により滞在交流型観光を推進し、国内外からの来訪客が長期滞在できる観光地域づくりを進めようとする仕組みです。その実行部隊となる「観光地域づくりプラットフォーム」はDMOの先駆けといえる組織であり、そらの郷も2017年11月に日本版DMOとして登録されました。



▲脇町うだつの町並み

当地では従来から、大歩危・祖谷地域の5軒のホテル・旅館により2000年に結成された「大歩危・祖谷いってみる会」が、行政とも連携して地域全体を売り込む活動を行い、国内外からの誘客に成果をあげてきました。また2007年には、農山村のありのままの暮らしを体験し受け入れ家庭と交流する、体験型教育旅行の受け入れ組織として「そらの郷山里物語協議会」が設立され、中学校、高校の修学旅行の受け入れを拡大してきました。2008年には初めての観光圏認定を受けましたが、2期目の認定に当たり、法人格を持った中間支援組織が要件とされる制度改正がありました。そこで「そらの郷山里物語協議会」を母体として「一般社団法人そらの郷」が2011年に設立されました。

そらの郷は、観光圏の取組として、観光地域づくりの戦略策定やマネジメント、旅行商品の開発販売や国内外からの誘客活動などを担うことになりました。地域全体では、大歩危・祖谷いってみる会を中心とした民間と行政が一体となり、さらに日本政府観光局や四国ツーリズム創造機構などとも連携して、積極的なインバウンド誘致を図っています。東洋文化研究者アレックス・カー氏の著作や海外の旅行ガイドブックで紹介された一定の認知度の上に、対象市場を分析し相性の良い国・地域を選び、情報発信や商品造成を働きかける戦略的なプロモーションを展開してきました。

また、そらの郷では、急傾斜の山腹に畑や居宅が点在する山村集落をガイドとともに訪れるツアーや、早朝V字溪谷に広がる雲海（八合霧）を鑑賞するタクシープランの開発、販売を行うほか、にし阿波の官民挙げて、多言語表記の看板やパンフレット整備など、さまざまな受け入れ環境整備を進めてきました。



▲加茂の大クス

この結果、当エリアの2017年の外国人宿泊者数は2万8824人で、10年前の30倍以上になりました。国別では東アジアが多いですが、欧米豪からの小規模富裕層ツアーも増加しております。

■「にし阿波」とは

さて、四国の中央部、徳島県西部「にし阿波」は美馬市、三好市、つるぎ町及び東みよし町の2市2町からなるエリア。圏域を貫いて「四国三郎」の異名を持つ吉野川が流れ、日本百名山の1つ剣山をはじめ、次郎笈や三嶺など1,800mを超える山々が連なる、美しく雄大な自然環境を有しています。更に、歴史文化、伝説伝承、独特の食文化、伝統芸能に彩られた、徳島県内屈指の観光地域です。



▲祖谷のかずら橋

美馬市の「脇町うだつの町並み」は江戸時代から続く古い商家の町並み散策と共に、藍染めや和傘などの伝統工芸を題材にした製作体験もできます。

つるぎ町の「二層うだつの町並み」は鏝絵を施した独特のうだつがあり、近くの庄屋敷も併せて是非ご覧いただきたいところ。東みよし町「加茂の大クス」は樹齢千年以上の大木がパワーを与えてくれると人気です。

三好市の「大歩危峡」「祖谷溪」は剣山国立公園の名所。遊覧船による「船下り」や「祖谷のかずら橋」を是非ご体験ください。「大歩危・祖谷温泉郷」でのお泊り、更に奥祖谷の「古民家ステイ 桃源郷祖谷の山里」もおすすめ。



▲猿飼集落の急傾斜畑

■世界農業遺産「にし阿波」

「にし阿波」にはよく知られた観光地だけではなく、奥に隠された魅力資源があります。それは、険しい山間地の独特の傾斜地集落。急斜面に住居が点在し、平坦な段々畑を作ることなく斜面のまま農業が営まれ、ススキを積み重ねた「コエグロ」がのどかな景観をつくり出しています。古くから培われてきた植物資源を循環させる農業や、自然と共生する暮らしが評価され、平成30年3月国連食糧農業機関の「世界農業遺産」に「にし阿波の傾斜地農耕システム」して認定されました。

山奥に広がる貴重な景観や文化をご覧にお越しになりませんか。